

平成26年度予算

長崎市は こんな仕事を 進めます

長崎市では、まちづくりの指針となる「**長崎市第四次総合計画**」に沿ってまちづくりを進めています。

今迎えている変革の時代のなかで、さまざまな変化に的確に対応しながら、市民の皆さんと力を合わせて、住みよいまちづくりを行うことが重要になります。

そのような中、平成26年度の予算が決定しました。この予算に基づいて、長崎市はさまざまな仕事に取り組みます。

第四次総合計画

総合計画は、これからの長崎市がめざす将来の都市像と、その実現のために必要な施策や取り組みを体系づけて示したものです。

平成23～32年度を計画期間とする第四次総合計画では、将来の都市像を「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」とするとともに、これを実現するためのまちづくりの基本姿勢を「つながりと創造で新しい長崎へ」としています。

これは、変化の激しい時代のなかで、今後も発展し続けるために、世界がその価値や魅力を認める「長崎らしさ」と、住む人の暮らしを起点に考える「住みやすさ」に重きを置きながら、新しい長崎をみんなで創っていくというものです。予算はこの計画に基づき作成し、編成しています。

※総合計画の詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。
お問い合わせください。

都市経営室 ☎8299・1111

財政課 ☎8299・1126

特集

市政

長崎市民

「ご意見」
プレゼント

生活情報

健康

子育て

被爆者援護

福祉

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

暮らしやすさを目指した予算

「今何に重点を置くべきか」を考えながら、事業展開や成果も意識し、市民生活を起点に考えて長崎らしく、暮らしやすいまちを目指して予算をつくりました。

進化を具体的にするために

3つの重点分野の進化

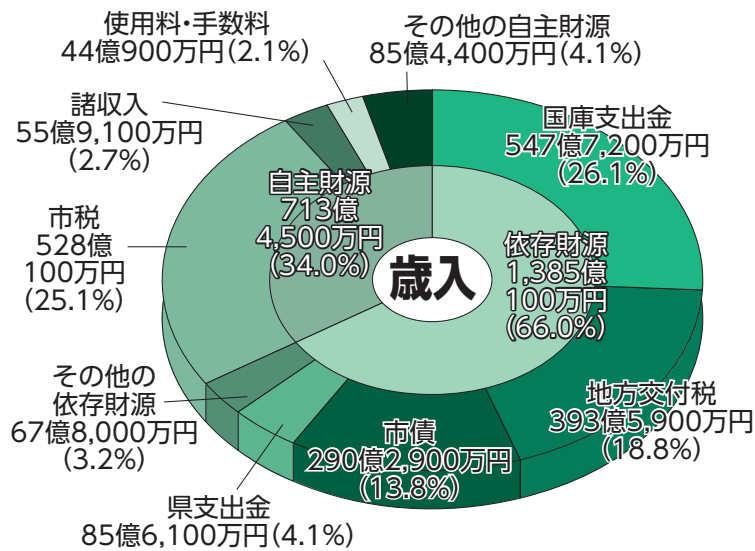
- 「経済」の進化
外貨を稼ぐために市外にも目を向けた「外向き」の力を強化する取り組みを進めます。
- 「まちの形」の進化
市中心部の整備をはじめとして地域のそれぞれの魅力を高めながら、個性を生かしたまちづくりを進めます。
- 「まちを支える仕組み」の進化
暮らしやすいまちづくりや活動の拠点づくりを行うため、新たな仕組みづくりに向けた取り組みを進めます。

重点プロジェクトを進めます

「経済」「まちの形」「まちを支える仕組み」の進化を具体化するために、「13の重点プロジェクト」を進めます。

- ①行政サテライト機能再編成プロジェクト
支所・行政センター・本庁の機能再編
- ②市庁舎建設プロジェクト
新市庁舎整備の取り組み
- ③世界遺産推進プロジェクト
「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けた取り組み

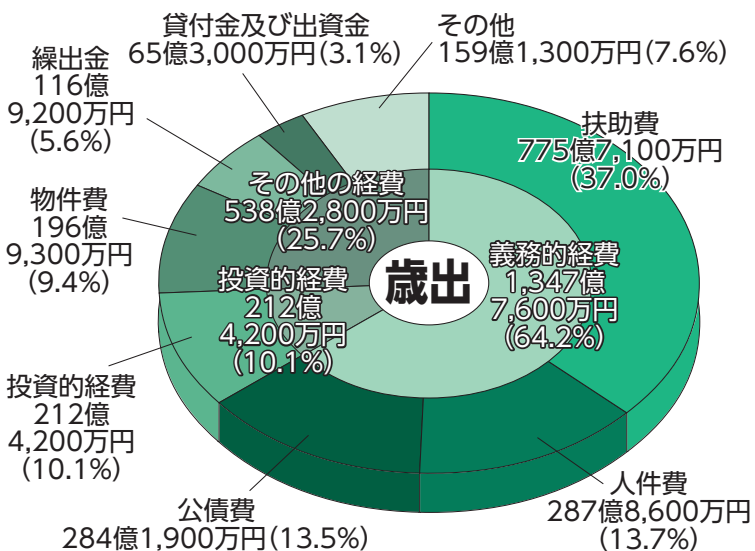
平成 26 年度の当初予算（一般会計） 2,098 億 4,600 万円



歳入のうち、市が自ら確保できる市税などの自主財源は34%。残り66%は国や県からの補助金や地方交付税、市債（市の借金）などで賄われます。

また、歳出のうち、急に減らすことが難しく、どうしても支払わなければならない扶助費（福祉関係の経費）や人件費、公債費（借金返済）などが64.2%を占めます。残りのお金を、そのほかの仕事にあてなくてはなりません。

このようなことから、市独自の行政サービスをより充実させるために必要な予算のゆとりはとて少ない状況です。



歳出を目的別に見てみると

費目	予算額
民生費	958 億 2,300 万円
土木費	229 億 1,100 万円
総務費	191 億 8,000 万円
衛生費	141 億 5,100 万円
教育費	141 億 2,400 万円
商工費	43 億 6,300 万円
公債費	284 億 1,900 万円
消防費等 そのほか	108 億 7,500 万円
合計	2,098 億 4,600 万円

長崎らしさ、

今月号から新コーナー「進化長崎!!」で、重点プロジェクトをはじめとした中・長期的な取り組みをご紹介します！

④ **地域コミュニティのくみくみづくりプロジェクト**
地域コミュニティの活性化に向けた取り組みや仕組みづくり

⑤ **長く元気で！プロジェクト**
高齢者が健康で生きがいを持って暮らしていけるような取り組み

⑥ **国際観光客誘致プロジェクト**
外国人観光客の誘致に向けた取り組み

⑦ **長崎サミットプロジェクト**
外貨の獲得に向けた基幹製造業、観光、水産業、大学の重点4分野の振興

⑧ **まちぶらプロジェクト**
まちなかの賑わいの創出を図るため、新大工から浜町、大浦に至るまちの個性や魅力を高める取り組み

⑨ **都市再生プロジェクト**
長崎駅周辺の再整備をはじめとした市中心部の整備

⑩ **出島表門橋架橋プロジェクト**
出島表門橋の架橋に向けた取り組み

⑪ **市役所カワルプロジェクト**
市民の立場にたって仕事を行い、成果をあげる市役所になるための取り組み

⑫ **地域振興プロジェクト**
合併地域の魅力や個性を生かしたまちづくり

⑬ **公共施設マネジメント推進プロジェクト**
公共施設のあり方の検討

特集

市政

長崎市民

プレゼン

生活情報

健康

子育て

被爆者援護

福祉

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

収入

①現金収入	170万円
給料（市税）	126万円
パート収入（使用料・手数料など）	35万円
貯金の取り崩し（基金繰入金）	9万円
②もったり借りたりするお金	330万円
親からの仕送り（国や県からのお金）	261万円
ローン（国や銀行からの借入金）	69万円
※借入金（市債）残高 587万円	
※貯金（基金）残高 79万円	
合計（①+②）	500万円

支出

①生活費	321万円
食費（人件費）	68万円
医療費（医療費助成、生活保護など）	185万円
ローン返済（市債の元金や利子など）	68万円
②家の増改築費など	51万円
（道路や学校の新築改修など）	
③その他の経費	128万円
光熱水費（光熱水費や委託料など）	47万円
家具などの修繕費（施設の維持補修など）	5万円
子どもへの仕送り（他の会計への繰出金）	28万円
貯金（基金への積み立て）	4万円
その他（補助金負担金など）	44万円
合計（①+②+③）	500万円

当初予算を、家庭の家計簿に置き換えると...

親の仕送りに頼っている状況で、やりくりが今後も必要！

収入は、現金収入（①）が全体の3分の1で仕送り（地方交付税、国庫支出金など）に大きく頼った状況になっています。一方、支出は、食費（人件費）の削減に努めていますが、高齢化などのため医療費（医療費助成、生活保護など）の負担が重く、貯金の取り崩し（基金繰入金）で収支不足を補っていて、非常に厳しい状況です。

そういう中で、これまでの取り組みについて「市民起点」の考え方に立って改めて検証し、既存事業の見直しも併せて行うなど、さまざまなやりくりをして、「市民にわかりやすく説明できる」予算編成となるよう心がけています。

市の貯金と借入金

市民一人あたりの貯金は **7万5,000円**

基金の残高見込みは、330億3,230万4,000円です。

市民一人あたりの借金は **56万1,000円**

借入金の残高見込みは、2,463億1,859万8,000円です。より低利なものに借り換えるなど負担の軽減に努めています。

その他の会計

会計	予算
特別会計	1,139億4,800万円
企業会計	473億9,800万円
一般会計	2,098億4,600万円
合計	3,711億9,200万円

特定の収入（保険料や使用料など）により賄われる特別会計（12会計）と、その仕事自体に収益があり、支出を収益で賄う企業会計（2会計）があります。

※見込みは平成26年度末、一般会計分。人口439,318人（平成25年12月31日現在）で算出

2 平和の発信と世界への貢献

重点テーマ

被爆者から被爆二世・三世への 被爆体験の継承を支援 (199万6,000円)

被爆者の証言を記録保存し、二世・三世が伝えていくための原稿作成の支援や、話し方の研修会などを実施します。

被爆 70 周年に向けた記念事業の公募 (12万3,000円)

来年は被爆 70 周年を迎えます。それに向けて、民間団体などを対象に、記念事業を公募します。

世界こども平和会議プレ大会の開催 (345万4,000円)

子どもが言葉や文化の違いを超えて交流を深め、平和への思いを発信する「世界こども平和会議」を来年開催。そのプレ大会として、アジアの子どもを中心とした平和会議を 8 月に開催します。

6 ともに支え合い、いきいきと暮らせる地域社会の実現

重点テーマ

子どもをみんなで守ります! (279万6,000円)

皆さんと一緒に、いじめや児童虐待、体罰などから子どもを守るため「長崎市子どもを守る条例」を制定しました。子どもを守る取り組みとして、広報・啓発活動や関係機関と連携を図る協議会、専門的・客観的にいじめなどの調査などを行う専門委員会の設置など、子どもが安心して生活し学ぶ環境を整えます。

長く元気で! (5,759万5,000円)

身近な場所で、健康づくりや生きがいづくりができる場となる「健康・生きがいサロン(愛称:いってみゆ〜で)」を増やします。また、健康づくりに役立つ健康遊具を祝捷山公園・元宮公園・脇岬ふれあい公園に新たに設置します。



健康遊具 (21 ページに詳しい内容を掲載しています)

8 多様な主体による地域経営

重点テーマ

コンビニで住民票 (540万円)

平成 28 年 1 月から個人番号カードを利用してコンビニエンスストアで住民票などが取得できるように、準備を進めます。

3 地域経済の活力の創造

重点テーマ

企業の挑戦を支援 (2,861万9,000円)

大学と連携して創業するかたや、大学などと共同で行う新製品や新技術の開発に挑戦する企業への支援を行います。

優れた水産加工品の販路拡大 (300万円)

優れた水産加工品の販路を拡大するため、大手小売業者との取引や、海外輸出先から求められる食品衛生管理の手法である「HACCP (ハサップ)」の認証を地場企業が取得できるよう支援します。

7 創造的で豊かな心の育成

重点テーマ

学校図書館をもっと利用しやすく (5,331万7,000円)

夏休みなど長期休業中も中学校の図書館を開放し、子どもの読書活動を推進します。

池島小中学校で遠隔授業 (329万3,000円)

池島と本土の学校をテレビ会議システムで結んで、遠隔授業をできるようにします。また、教科指導の充実を図り、子どもたちの交流を促進します。

ラジオに出演! 団塊シニア世代 (129万6,000円)

ラジオ生番組のなかの団塊シニア世代向け公開イベントに参画します。これによって団塊シニア世代のかたが活動発表や新たな出会いができるようになります。



団塊シニア世代の活動の様子

特集

市政

長崎市民

プレゼンター

生活情報

健康

子育て

被爆者援護

福祉

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

こんな仕事を進めます

総合計画に掲げる「将来の都市像」の実現に向けて8つの重点テーマに沿った事業を行います。その事業の一部をご紹介します。



明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域（端島炭坑）



長崎の教会群とキリスト教関連遺産（出津教会堂）

1 個性を活かした交流の拡大

重点テーマ

2つの世界遺産があるまちを目指します

(1億6,109万4,000円)

明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域

平成27年の世界遺産登録に向けて、今年、専門機関（イコモス）の現地調査に対応するための準備などを進めます。構成資産の端島炭坑、高島炭坑については、保存管理計画の策定などを進めます。

長崎の教会群とキリスト教関連遺産

平成28年の世界遺産登録に向けて、平成26年の国の推薦を受けられるよう準備を進めます。また、外海地区には案内板を設置するなど、観光客の受入態勢の整備も進めます。

夜景の魅力をアップ(1億2,080万円)

ながさきクリスマスイルミネーションの拡大、鍋冠山公園展望台の再整備の準備などを行い、今以上に世界新三大夜景を楽しめるようにします。

出島復元に向けた取り組み(1億6,865万円)

平成28年の供用開始をめざし、復元建造物6棟の建築工事に着手します。また、シンポジウムなどを開催して、市民の皆さんと意見を交えながら、出島表門橋の架橋に向けた取り組みを進めます。



今年1月に行われた発掘現場説明会

4 環境との調和

重点テーマ

みんなでエコ活動(1,275万4,000円)

「ながさきエコライフ・フェスタ」や「エコライフ・ウィーク」をさらに充実させます。また、市民や市民団体、事業者などとの協働で、誰でも気軽に取り組める温暖化防止の市民運動を展開します。



ながさきエコライフ・フェスタ

資源物の試験回収(71万8,000円)

家庭から出る古布と小型家電について市内約10カ所に回収ボックスを設置して、試験的回収を実施します。

5 安全・安心で快適な暮らしの実現

重点テーマ

指定緊急避難場所の表示

(4,270万円)

体育館などの避難所へ避難がすぐできない時に利用できる一時的な避難場所として、公園などを指定しています。表示板を設置することで、どこに一時避難できるか、また、最寄りの避難所がどこかが分かるようになります。



表示板イメージ

民間建築物の耐震化(1億640万円)

不特定多数のかたが利用する一定規模以上の民間建築物の耐震化を図るため、耐震診断費と耐震改修設計費の一部を助成します。